

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来におかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年3月9日 文責：校長 森川 稔

ありがとう、6年生！

卒業を控えた6年生に感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を行いました。各学年とも6年生に対して、ダンスや歌詞をアレンジした歌、クイズなど工夫を凝らした出し物で気持ちを伝えました。それを見ている6年生は笑顔の中にも感動の表情も見え、あらためて自分たちが取り組んできたこと、学んできたことに対する在校生の気持ちを感じているようでもありました。



楽しい出し物のあと、各縦割り班に分かれ、プレゼント渡しがありました。ここでも卒業生の名前の頭文字をとったあいうえお作文で表現し、すてきな笑顔が広がっていました。最後はじゃんけんで6年生に挑戦するゲームで盛り上がり、その後、6年生一人一人からメッセージがありました。限られた時間ではありましたが、卒業生と在校生のやりとりから、本校の子どもたちどうし、学年間のつながりの強さを感じました。



また、集会の前には、校旗の移譲がありました。今年度のリーダーである6年生から、次のリーダーとなる5年生に校旗が手渡されました。それぞれの思いや決意を述べ合い、田平東小の伝統と歴史が引き継がれる厳かで感動的な時間でした。

『伝統を引き継ぐ』とは、単に先輩がやってきたことをそのままやるという『形』を受け継ぐだけでなく、しっかりと活動や取り組みに込められた『心・思い』も感じ取り、受け継いでいく構えが大切です。まさに本校の学校教育目標に掲げている「感じ・動き・かわる」ということに直結します。今回の「ありがとう集会」や卒業式など節目の機会こそが、このような校風や伝統といった精神文化を学ぶ貴重な場となります。



感謝の気持ちを伝え合い、新たな決意や目標を意識することができたすてきな時間でした。

ようこそ田平東小へ！

4月から新1年生になるお隣の花園こども園のみなさんを招いて、1年生が交流会を行いました。

先日の入学説明会では、5年生と一緒に活動して楽しみましたが、今回は1年生がいろいろな企画を考えて進行了ました。

それぞれに自己紹介をしたあと、1年生が学校での生活の様子についてわかりやすく説明していました。次に園児のみなさんの手を引いて学校の中を案内しました。説明する姿はすっかりお兄さん、お姉さんの表情でした。最後はじゃんけん列車などのゲームを一緒にして大盛り上がりでした。

一年前は園児のみなさんと同じような立場だった1年生も、この一年間で大きく成長しました。あらためて4月、10名の園児のみなさんの入学がとても楽しみです。



地域の取り組み

先月末と今月初めの週休日に、以前ご案内していた地域のイベントが開催されました。2月28日(土)は町内のまちづくり協議会主催のゴミ拾い活動がありました。本校の中庭に、子どもたちや保護者、地域の企業の方々、遠くは長崎市の方からも参加者の方々が集まり、3つのコースに別れてゴミを拾いました。おかげさまで校区内がとてもきれいになりました。



また、翌日の3月1日(日)には、校区内の上亀地区で「未来へつなぐ千年の森&黄金の里づくり植樹祭」がありました。豊かな自然に囲まれた地区の未来を子どもたちに託し、いつまでも大切にしながらさらなる発展を願って、色とりどりの風船を飛ばし、4年間かけて大切に育てられたイチヨウの苗木をみんなで植樹しました。市町村合併50周年と

なる30年先、そしてなんと1,000年後に開けるタイムカプセルにいろいろな願いや思いを込める取組もあり、たくさんの人で盛り上がった一日でした。



田平東小HPはこちらから→

